



区議会が台湾の地震被害に見舞金

15日、杉並区議会議員有志からの見舞金19万円を台北駐日経済文化代表処（港区）に届けました。この見舞金は、6日に台湾南部を震源に発生した地震被害に対するものです。

杉並区と台湾は、平成23年に区内の中学生による異文化理解・国際交流を目的に、「中学生野球交流事業」が始まって以降、様々な機会での交流を重ねています。その台湾で、6日未明にマグニチュード6.4を記録する大きな地震が発生しました。

杉並区からは、9日に見舞金が届けるとともに、区役所本庁舎のロビーに義援金箱を設置し、来庁者に協力を呼びかけています。区議会からも、区と交流のある台湾の復旧・復興に少しでも力になりたいとの声が上がりました。そして、区議会の有志から義援金を集めて届けることになりました。

区議会議員は48名ですが、そのうち38名が賛同し19万円が集まりました。15日、区議会事務局が台北駐日経済文化代表処（港区白金台5-20-2）に出向き、見舞金を手渡しました。

【報道機関 問い合わせ先】

区議会事務局 電話 03-3312-2111 内線 2301